

オニユリ

プランターでオニユリを育てています。試験湛水の直前、旧灰塚でぽつんと 1 株自生しているのを見つけ、掘り取ってきて増やしました。どなたかの忘れ物だったのかもしれませんが。

まだ収穫したことはありませんが、栽培の目的はユリ根です。どんな種類のユリでも良いのかと思っていたら、食用に適しているのはヤマユリ・オニ



ユリ・コオニユリの 3 種で、ほかのユリ根は苦いそうです。ただし、漢方薬の百合(ひやくごう)としてはテッポウユリも使われるとか。薬なら苦くても構わないということでしょう。

オニユリは 3 倍体で種子ができません。増やすには鱗茎をほぐして植える方法もありますが、葉の付け根にできるムカゴを植えるのがお手軽です。お手軽の反動として、ユリ根が太りにくいというデメリットもあります。ムカゴが小さいうちに、小まめに除去してやれば良いのかもしれませんが。

数年前から、ウェットランド管理棟の観察窓の近辺にも、オニユリのムカゴをばらまいています。こちらは観賞用。最適環境の半日蔭よりも日照不足がみなので、花が咲くまでにはだいぶ年数がかかりそうです。